

コロナとのつきあい方 滋賀プラン

滋賀県
(5月14日)

概要

客観的指標により3段階のステージを設定

- 社会経済活動の再開
- 感染者が再度増えてきた際の対策強化

を判断するとともに、当面の対策を示す。

各ステージの説明

※「実効再生産数」とは、「1人の感染者が何人に感染させるかを示す値」を意味する。

特別警戒 ステージ	<p>医療崩壊・感染爆発のリスクが高く、市中感染も拡大傾向にあり、活動の大幅な制限が必要となるステージ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 生活する上で必要不可欠な業種や活動のみ実施を認め、その他については自粛を要請。 ✓ 実効再生産数を80%削減する行動変容(5分の1ルール)が必要。
警戒 ステージ	<p>県内もしくは近隣府県で感染拡大のおそれがあり、状況が悪化すれば感染爆発や医療崩壊につながる可能性のあるステージ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ リスクの大きい場所や活動については制限を行い、リスクの小さい場所や活動については十分注意するか一部制限した上で実施。 ✓ 実効再生産数を50%削減する行動変容が必要。
注意 ステージ	<p>県内外における感染が一定抑制され、収束しつつあることが明確であり、三つの密等に注意しながら活動を再開するステージ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 元通りの生活に戻るのではなく、三つの密の回避、人との間隔の確保、マスクの着用、手洗いの徹底などの対策を継続しながら活動を実施。 ✓ 実効再生産数を30%削減する行動変容が必要。

以下の2点に特に注意が必要

- ① 注意ステージは元通りの生活に戻るのではなく、感染拡大に注意しながら生活する
- ② 今後少なくとも1年以上は、発生状況により**ステージが移り変わっていくこと**の認識を持つ

各ステージの判断指標

判断指標※1のうちどれか一つでも満たすものがあれば、より悪いステージにあると判断する。ただし、参考指標の状況も鑑み、ステージの判断を行うものとする。

		特別警戒ステージ	警戒ステージ	注意ステージ	
		感染爆発・医療崩壊のリスクが高い →活動の大幅な制限	感染拡大のおそれがある →リスクに応じた対策を実施	感染が一定抑制されている →3密に注意して活動	
判断 指標	大阪府および京都府の 緊急事態宣言の状況	-	大阪府または京都府に発令	大阪府、京都府に発令されていない	
	県内状況	感染経路が不明な新規陽性者数	7日間に複数確認※2	7日間で1名まで※3	14日間連続ゼロ
		入院患者受入病床の稼働率	60%以上	30%以上	30%未満
	人工呼吸器等の稼働率	60%以上	30%以上	30%未満	
参考 指標	大阪府および京都府を除く 緊急事態宣言の状況	近畿および近隣県のいずれかに発令		近畿および近隣県のいずれにも発令されていない	
	県内状況	県内の実効再生産数*4 (21~14日前までの平均)	1.5以上	0.7以上	0.7未満
		濃厚接触者を除くPCR検査陽性率*5	7日間平均3%以上	7日間平均3%未満	14日間0%
		K値*6	0.5以上	0.05以上	0.05未満
	クラスターの発生 (7日間)	認められる		認められない	

*1 今後、患者発生状況などを踏まえ、必要に応じて見直しを検討。

*2 ステージダウン（特別警戒から警戒へ）は、7日間で1名までであることが必要。ステージアップ（警戒から特別警戒へ）は、感染爆発・医療崩壊のリスクが高い感染状況下（ $R_t=1.5$ 以上または K 値 $=0.5$ 以上等の参考指標も考慮）で複数確認された時点で移行。

*3 ステージダウン（警戒から注意へ）は、14日間連続で0名であることが必要。ステージアップ（注意から警戒へ）は、感染拡大のおそれがある感染状況下（実効再生産数 $=0.7$ 以上または K 値 $=0.05$ 以上等の参考指標も考慮）で、1名確認された時点で移行。

*4 1人が何人に感染させるかを示す値（ R_t ）。

*5 濃厚接触者および陰性確認の者を除くPCR検査陽性率

*6 1に近づくほど感染が拡大し、0に近づくほど感染が収束していることを意味する。(Nakano T., et al. 2020. doi:https://doi.org/10.1101/2020.04.25.20080200)

実効再生産数の削減

実効再生産数は、「社会的な行動制限」により物理的な人と人との接触を減らすなどに加え、「個人の行動制限」によりマスクの着用や人との間隔を空ける（2m以上の確保）、部屋での換気を行う等の対策を組み合わせることで、単純な行動制限以上に削減させる効果があると考えられる。

社会的な行動制限

- ① 外出自粛の要請
- ② イベント自粛の要請
- ③ クラスタ発生および3つの密の可能性のある施設の使用制限



個人の行動制限「滋賀らしい生活三方よし」



- ✓ 毎朝、体温測定、健康チェック
- ✓ 発熱がある場合は自宅で休む
- ✓ 家に帰ったらまず丁寧に手洗い
- ✓ こまめに換気



- ✓ 症状がなくてもマスクを着用し、咳エチケットの徹底
- ✓ 遊びにいくなら、屋内より屋外で
- ✓ 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける
- ✓ 混んでいる時間帯は避けるなど、人と人との接触機会を減らす
- ✓ 移動は、徒歩や自転車の活用



- ✓ 感染が流行している地域への移動は避ける
- ✓ 帰省や旅行、出張はやむを得ない場合だけに
- ✓ 発症した時のため、自分の行動を残す
- ✓ テレワークやローテーション勤務の活用

各ステージにおける感染拡大防止対策

各ステージにおける対策は、本県の感染状況、国の基本的対処方針等を踏まえ、柔軟に対応

ステージ	特別警戒ステージ	警戒ステージ	注意ステージ	
医療体制	病院が医療崩壊防止のためのBCP発動	病院が特別警戒ステージに備えた準備	病院が適切な感染防止対策	
企業への呼びかけ	在宅勤務を推奨	在宅勤務を推奨	在宅勤務を推奨	
	時差出勤を推奨	時差出勤を推奨	時差出勤を推奨	
外出	渡航	発生地域から（へ）の不要不急の渡航自粛を呼びかけ、渡航後14日間の外出自粛を求める		
	県をまたぐ移動	自粛要請 (Stay Home)	自粛要請 (Stay Home Town)	万全の対策を前提に制限なし
	個人の外出	「滋賀1/5ルール」の徹底 「滋賀らしい生活三方よし」の実践		
イベント	自粛要請	自粛要請 (一定規模のイベントは除く)	万全の対策を前提に制限なし	万全の対策を前提に制限なし
施設の使用	使用制限要請	使用制限要請	万全の対策を前提に制限なし	万全の対策を前提に制限なし